

(1) 病原体検査状況

ア 疾病別、月別検体受入状況(P41 表 18 参照)

検体受入件数 7,594 件（全数把握対象疾患 4,760 件、定点把握対象疾患 2,833 件、その他 1 件）で、全数把握対象疾患は多い順に新型コロナウイルス感染症 4,476 件、腸管出血性大腸菌感染症 85 件、麻しん 69 件、風しん 69 件、日本紅斑熱 21 件、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）14 件等であった。

新型コロナウイルス感染症については、各保健所から民間検査機関への委託が進んだことから、受入検体数は徐々に減少した。感染症法上の位置付けが 2 類相当から 5 類感染症になった 5 月以降は定点把握対象疾病に移行してゲノム解析が主となり、患者数の多かった 8 月には 949 件を受け入れた。

他の全数把握対象疾病については、腸管出血性大腸菌感染症の検体は 6 月から 12 月まで検体の搬入があったが、8 月と 9 月にそれぞれ 31 件と 43 件と集中した。

ダニ媒介感染症である日本紅斑熱の検体は 2 月から 11 月、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の検体は 3 月から 11 月とマダニの活動が盛んな春から秋にかけて搬入が相次いだ。5 月と 9 月に多かった。

定点把握対象疾病については、感染性胃腸炎の検体の受け入れが 1 月から 12 月まで毎月あった。インフルエンザは冬期と春期を中心に検体を受け入れた。

イ 疾病別病原体検出状況(P42 表 19-a、P43 表 19-b 参照)

腸管出血性大腸菌感染症、日本紅斑熱等の 16 疾病 16 種類 33 型（血清型、遺伝子型、遺伝子型および遺伝子群を含む）のウイルス、リケッチア及び細菌が検出された。検出されたものは以下のとおりである。

- (ア) 腸管出血性大腸菌感染症：O157 が 3 件検出された。
- (イ) 日本紅斑熱：日本紅斑熱リケッチアが 3 件検出された。
- (ウ) つつが虫病：つつが虫病リケッチアが 2 件検出された。
- (エ) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）：SFTS ウイルスが 2 件検出された。
- (オ) デング熱：デングウイルスが 1 件検出された。
- (カ) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎等を除く。）：アデノウイルスが 1 件検出された。
- (キ) 麻しん：麻しんウイルスが 1 件検出された。
- (ク) 新型コロナウイルス感染症：新型コロナウイルスが 271 件検出された。
- (ケ) 咽頭結膜熱：アデノウイルス 2 型が 1 件検出された。
- (コ) 感染性胃腸炎（P44 図 9 参照）：アデノウイルス、エンテロウイルス、アストロウイルス、ノロウイルス、サポウイルス、黄色ブドウ球菌が検出された。エンテロウイルスが 12 件と最も多く、次いでアデノウイルスが 9 件、サポウイルスが 7 件検出された。
- (サ) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）：A 群ロタウイルスが 1 件検出された。
- (シ) 手足口病（P44 図 10 参照）：エンテロウイルス型別不能が 3 件、コクサッキーウイルス A6 型が 1 件、エンテロウイルス A71 型が 1 件検出された。

- (ス) ヘルパンギーナ (P45 図 11 参照) : コクサッキーウイルス B5 型が 3 件、エンテロウイルス型別不能が 1 件、コクサッキーウイルス A2 型が 1 件検出された。
- (セ) インフルエンザ (インフルエンザ様疾患も含む) : AH3 型が 17 件、A (H1N1)2009 型が 5 件検出された。
- (ソ) 流行性角結膜炎 : アデノウイルス 9 件、ヘルペスウイルス 1 件が検出された。そのうち、アデノウイルス 3 型と 56 型が 3 件ずつ検出された。
- (タ) 無菌性髄膜炎 : エンテロウイルス型別不能が 1 件、コクサッキーウイルス A4 型が 1 件検出された。

表18 疾病別月別検体受入状況(令和5年1月~12月)

臨床診断名(疑いも含む)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
全数把握対象疾患	腸管出血性大腸菌感染症						2		31	43	6		3	85	
	日本紅斑熱		1	1	2	7	2	1	1	3	1	2		21	
	つつが虫病		2		2	2				2				8	
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)			1		4	2	1	1	2	1	2		14	
	デング熱						1							1	
	チクングニア熱						1							1	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1	2								2	8		13
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)						3								3
	麻疹		3		3	6	34	3	5	4	5			6	69
	風しん		3		3	6	34	3	5	4	5			6	69
	新型コロナウイルス感染症	3,921	478	31	46										4,476
	小計	3,921	488	35	56	28	76	8	43	58	20	12	15	4,760	
定点把握対象疾患	咽頭結膜熱									1			1	2	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎									1				1	
	感染性胃腸炎	6	6	6	2	6	6	5	4	3	4	4	6	58	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)			1										1	
	手足口病									2	1	2		5	
	ヘルパンギーナ						1	2	2		1			6	
	流行性耳下腺炎					1			1					2	
	インフルエンザ	4	5	4		2		2	1	1	5	7	8	39	
	急性出血性結膜炎														0
	流行性角結膜炎	1	1					1		1	1	4	2	1	12
	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)														0
	無菌性髄膜炎					1		2	2						5
	伝染性紅斑														0
	RSウイルス感染症														0
	マイコプラズマ肺炎														0
	水痘														0
	突発性発疹														0
新型コロナウイルス感染症※					49	173	552	949	517	208	127	127	2702		
小計	11	12	11	2	59	181	563	960	526	223	142	143	2833		
その他							1							1	
小計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
計	3,932	500	46	58	87	258	571	1,003	584	243	154	158	7,594		

※新型コロナウイルスは5月からの5類移行により定点把握対象とした

表19-a 全数把握対象疾患 疾病別病原体検出状況(令和5年1月～12月)

		腸管出血性大腸菌O103	腸管出血性大腸菌O146	腸管出血性大腸菌O157	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス	デングウイルス	チクングニアウイルス	カルバペネムマーゼ遺伝子(IMP、NDM、KPC、OXA-48)	アデノウイルス1型	麻しんウイルス	風しんウイルス	新型コロナウイルス	計
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			3											3
4類感染症	日本紅斑熱				3										3
	つつが虫病					2									2
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限)						2								2
	デング熱							1							1
	チクングニア熱														0
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症														0
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)										1				1
	麻しん											1			1
	風しん														0
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症													271	271
計		0	0	3	3	2	2		0	0		1		271	284

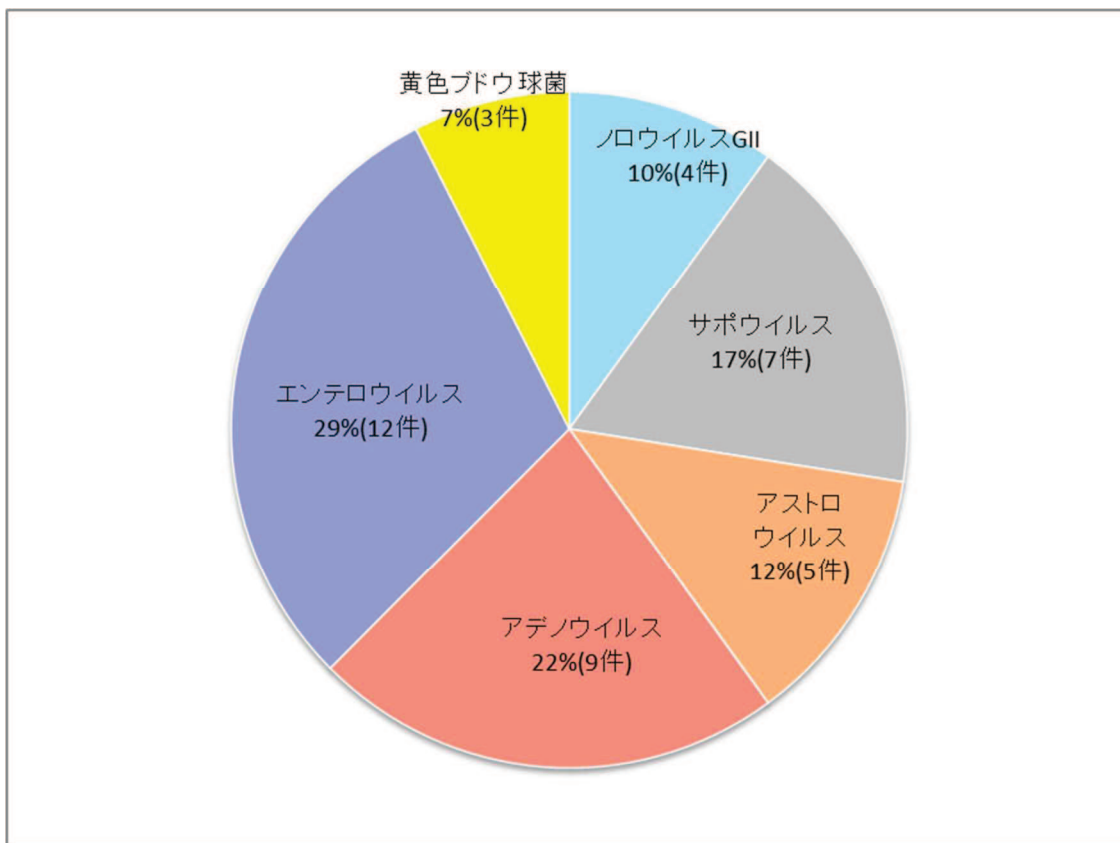
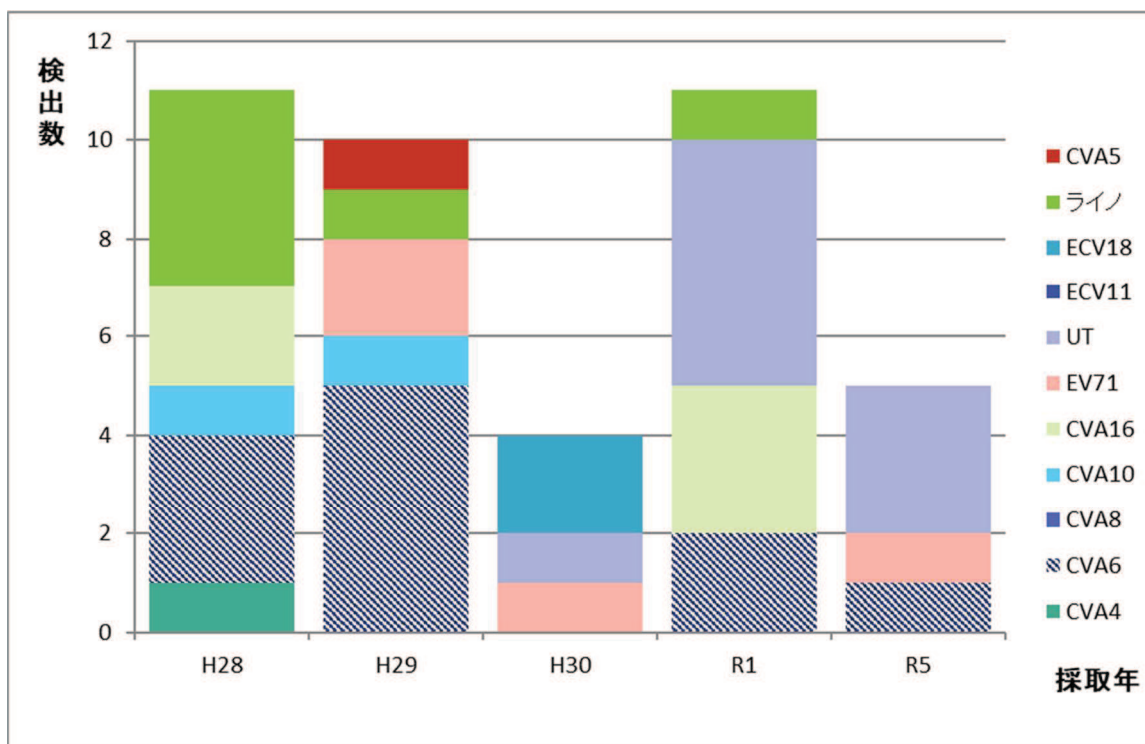
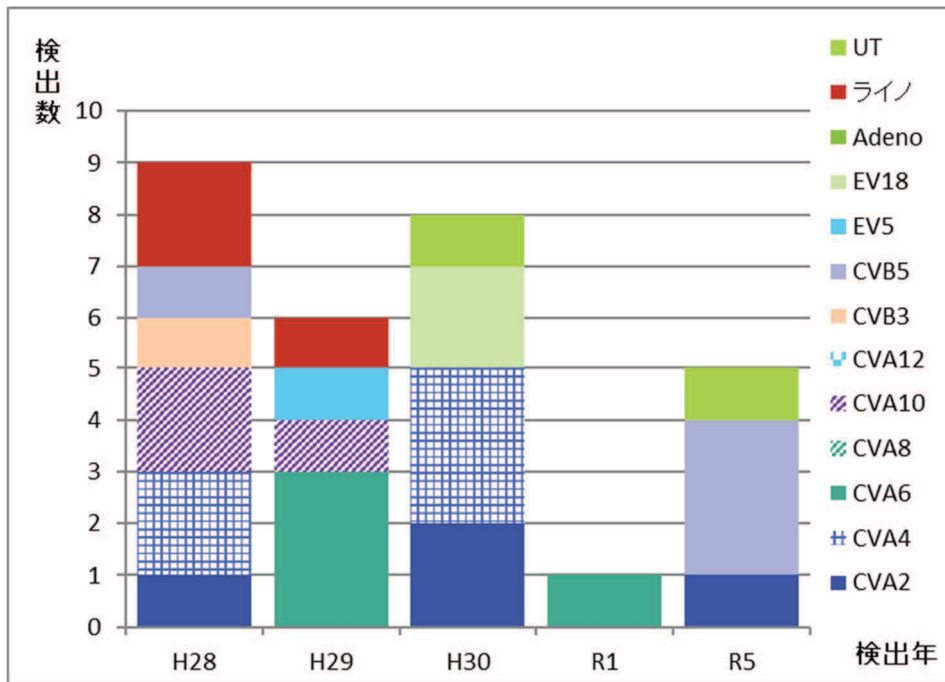


図 9 感染性胃腸炎診断の便検体から検出されたウイルスの割合



※CV：コクサッキーウイルス UT：型別不能

図 10 年別手足口病と診断された患者の咽頭ぬぐい液検体からの検出ウイルス



※CV：コクサッキーウイルス UT：型別不能

図 11 年別ヘルパンギーナと診断された患者の咽頭ぬぐい液検体からの検出ウイルス

(2) 全数把握対象疾患

ア ウイルス検査状況

(ア) SFTSウイルス

保健所の積極的疫学調査により 14 件の検査を実施し、2 件（2 名）から SFTS ウイルスが検出された。

(イ) デングウイルス

保健所の積極的疫学調査により 1 件の検査を実施し、デングウイルスが検出された。

(ウ) チクングニアウイルス

保健所の積極的疫学調査により 1 件の検査を実施したが、チクングニアウイルスは検出されなかった。

(エ) アデノウイルス

保健所の積極的疫学調査により急性脳炎（ウエストナイル脳炎等を除く。）の原因究明の一環として 3 件（1 名）の検査を実施し、1 件からアデノウイルス 1 型が検出された。

(オ) 麻しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により 69 件の検査を実施し、3 件（1 名）から麻しんウイルスが検出された。

(カ) 新型コロナウイルス

保健所の積極的疫学調査により 4,476 件の検査を実施し、271 件から新型コロナウイルスが検出された。

イ リケッチア検査状況

(ア) 日本紅斑熱

保健所の積極的疫学調査により 21 件の検査を実施し、5 件（3 名）から日本紅斑熱リケッチアが検出された。

(イ) つつが虫病

保健所の積極的疫学調査により 8 件の検査を実施し、2 件（1 名）からつつが虫病リケッチアが検出された。

ウ 細菌検査状況

(ア) 腸管出血性大腸菌感染症

県内で腸管出血性大腸菌感染症患者（健康保菌者を含む）は 19 名発生した。当所では、患者（陰性化確認）と患者の接触者（結果陽性の場合の陰性化確認も含む）について 85 検体（便）の検査を実施した。その結果、3 件の腸管出血性大腸菌を分離・同定し、これらの血清型は O157 であった。また、当所で分離・同定された菌株 3 株について毒素遺伝子を検査したところ、VT1 が 2 株、VT2 が 1 株検出された（P47 表 20 参照）。

(イ) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

保健所の積極的疫学調査により 13 件について検査を実施したところ、いずれも 4 つの遺伝子型（IMP 型、NDM 型、KPC 型、OXA-48 型）に該当しなかった。

表 20 腸管出血性大腸菌感染症発生状況(令和 5 年 1 月～12 月)

No.	検出月日	当所検査	居住地域	性別	年齢※	症状の有無	O 血清型	Vero 毒素型
1	6月28日	—	西部	女	10歳代	有	157	VT2
2	8月4日	—	東部	女	50歳代	有	157	VT1・VT2
3	8月7日	—	中部	男	50歳代	有	157	VT1・VT2
4	8月9日	—	中部	男	20歳代	有	157	不明
5	8月11日	—	西部	女	10歳代	有	157	VT1・VT2
6	8月21日	—	東部	男	20歳代	有	157	VT1
7	9月5日	—	西部	女	幼児	有	157	VT1
8	9月14日	—	中部	男	幼児	有	157	VT1
9	9月16日	分離・同定	中部	女	30歳代	有	157	VT1
10	9月18日	分離・同定	中部	男	小学生	無	157	VT1
11	9月27日	—	西部	女	40歳代	有	157	VT2
12	9月28日	—	中部	男	80歳代	有	157	VT1・VT2
13	9月28日	—	中部	男	20歳代	有	157	VT1
14	9月29日	分離・同定	西部	男	40歳代	無	157	VT2
15	9月29日	—	西部	女	30歳代	無	157	VT1
16	10月12日	—	西部	女	20歳代	無	26	VT1
17	10月20日	—	西部	女	40歳代	無	157	VT1
18	12月4日	—	西部	女	90歳代	有	157	VT1・VT2
19	12月14日	—	東部	男	40歳代	無	115	VT1

※表中の着色部分はそれぞれ同一事例を示す。それ以外は個別事例

※幼児：1歳以上の未就学児

(3) 定点把握対象疾患(P49 表 21 参照)

ア ウイルス検出状況

- (ア) アデノウイルスは、2型と3型が各4件、56型が3件等計19件検出された(P50 図 12 参照)。
- (イ) 2022/23 シーズン(2022年9月5日~2023年9月3日)のインフルエンザウイルスは、A(H1N1)2009型が1件、AH3型が3件検出された。B型は検出されなかった(P50 図 13-a, P51 図 14 参照)。
2023/24 シーズン(2023年9月4日~2024年9月1日)のインフルエンザウイルスは、AH3型が主に流行した(P51 図 13-b 参照)。
2023/24 シーズンにはAH3型が14件、A(H1N1)2009型が8件、BVictoria型が4件検出された(P51 図 14 参照)。
- (ウ) RSウイルス、ライノウイルス、ムンプスウイルスは検出されなかった。
- (エ) ノロウイルスは4件検出された。遺伝子群はすべてGIIであった。
- (オ) アストロウイルスは5件検出された。
- (カ) パルボウイルスB19は検出されなかった。
- (キ) ヘルペスウイルスは、ヘルペスウイルス7が3件、ヘルペスウイルス4と6がそれぞれ1件検出された。
- (ク) エンテロウイルスは、7月に最も多く検出された。型別では、コクサッキーウイルスB5型6件が多く検出された(P52 図 15 参照)。
- (ケ) サポウイルスは、5月、10月、11月、12月に計7件検出された(P52 図 16 参照)。

イ 細菌検出状況

- (ア) 黄色ブドウ球菌が3件検出された。
- (イ) A群溶血性レンサ球菌は検出されなかった。

表21 定点把握対象疾患 月別ウイルス等検出状況(令和5年1月～12月)

検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
アデノ 1型													0
アデノ 2型						1	2		1				4
アデノ 3型									2		1	1	4
アデノ 4型													0
アデノ 5型					1								1
アデノ 7型													0
アデノ 8型													0
アデノ 37型										1			1
アデノ 40/41型											2		2
アデノ 54型					1								1
アデノ 56型									2	1			3
アデノ 64型													0
アデノ 型別不能					1			1		1			3
インフルエンザ AH3						1	1	1		4	6	4	17
インフルエンザ A(H1N1)pdm09				1					1		1	2	5
インフルエンザ B Victoria系統													0
インフルエンザ B Yamagata系統													0
インフルエンザ B 系統不明													0
コクサッキー A2型					2		1						3
コクサッキー A4型							1						1
コクサッキー A5型													0
コクサッキー A6型										1			1
コクサッキー A9型											1	1	2
コクサッキー A10型													0
コクサッキー A16型													0
コクサッキー B5型					1	4	1						6
エコー 3型											1		1
エコー 5型													0
エコー 6型													0
エコー 11型													0
エコー 18型													0
エンテロ A71型								1		1			2
エンテロ 型別不能							2	2	3			1	8
その他のエンテロウイルス													0
ライノ													0
ムンプス													0
パルボウイルスB19													0
RS A亜型													0
RS B亜型													0
A群ロタ					1								1
C群ロタ					1								1
アストロ					3	2							5
ノロ GI													0
ノロ GII				3	1								4
サポ 型不明					2							1	3
サポ GI型										2	1		3
サポ GV型											1		1
ヘルペス 3													0
ヘルペス 4							1						1
ヘルペス 5													0
ヘルペス 6							1						1
ヘルペス 7				1			2						3
A群レンサ球菌													0
黄色ブドウ球菌				1			1			1			3

※新型コロナウイルス検査対応のため、1月から3月は病原体定点からの発生動向調査検体の受入を中止した。

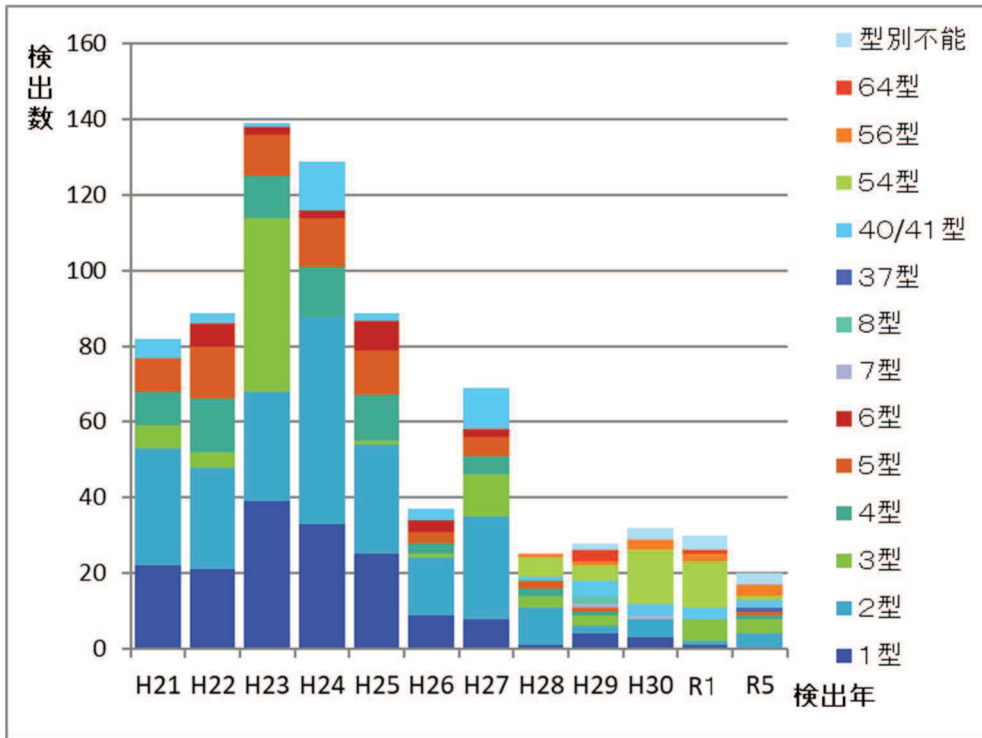


図 12 年別型別 アデノウイルス検出状況

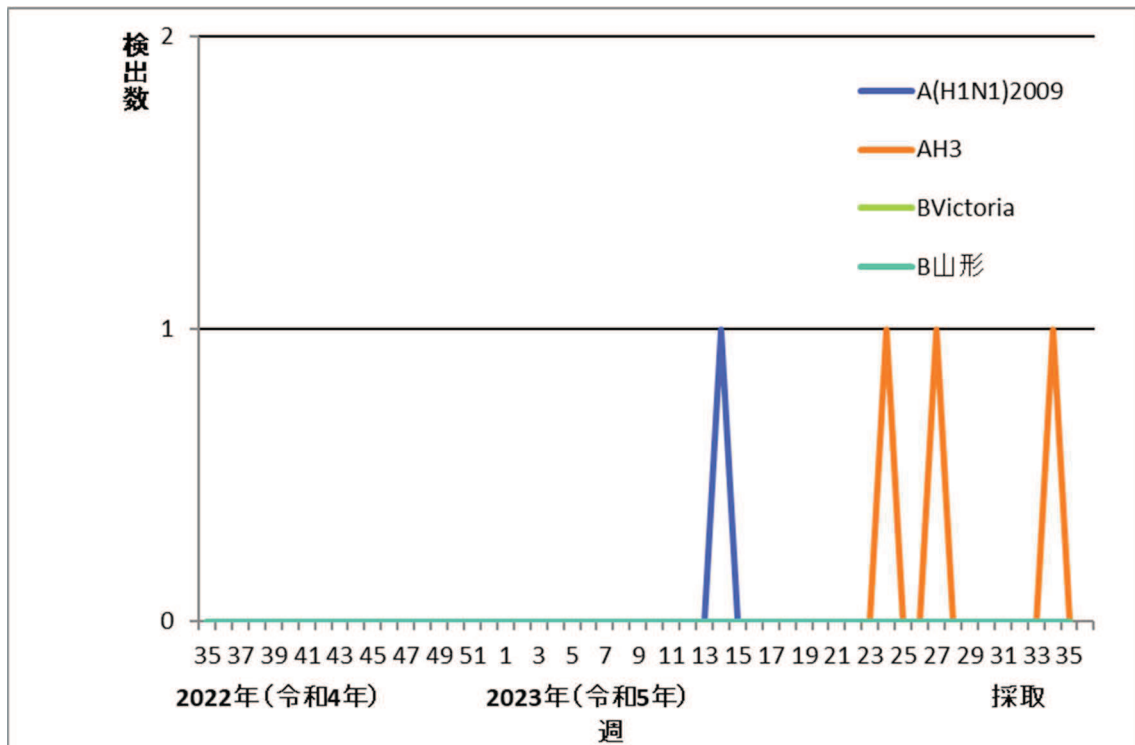


図 13-a 2022/23 シーズン インフルエンザウイルス検出状況

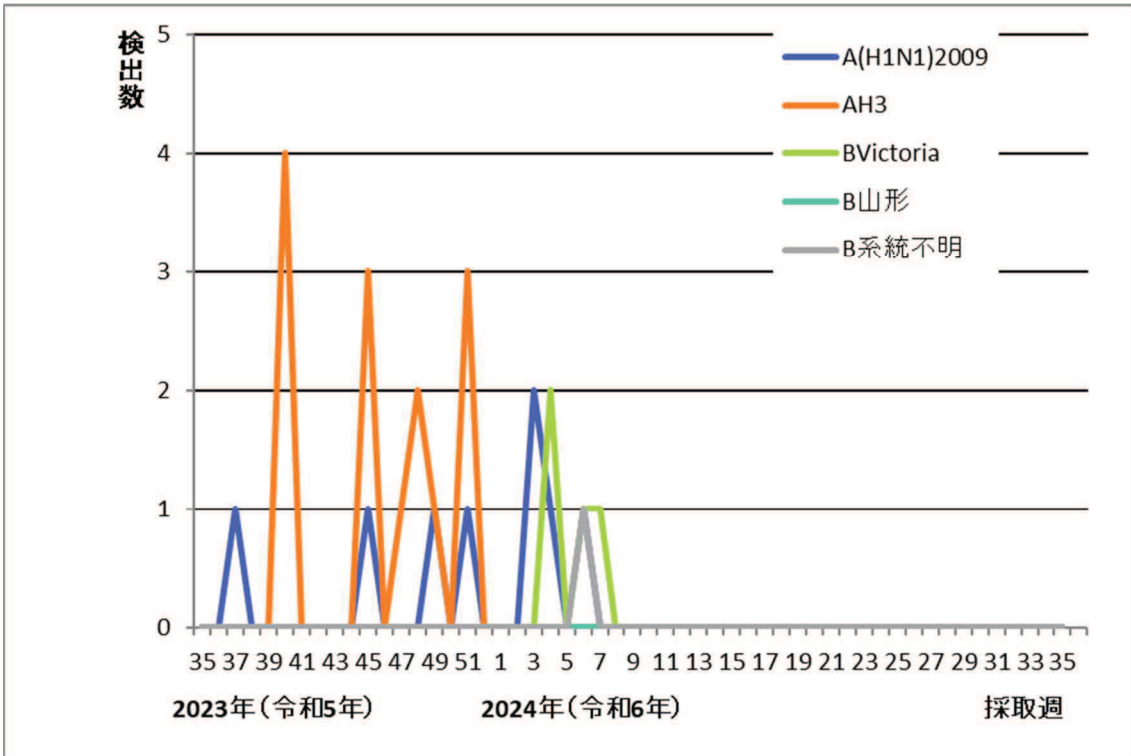


図 13-b 2023/24 シーズン インフルエンザウイルス検出状況

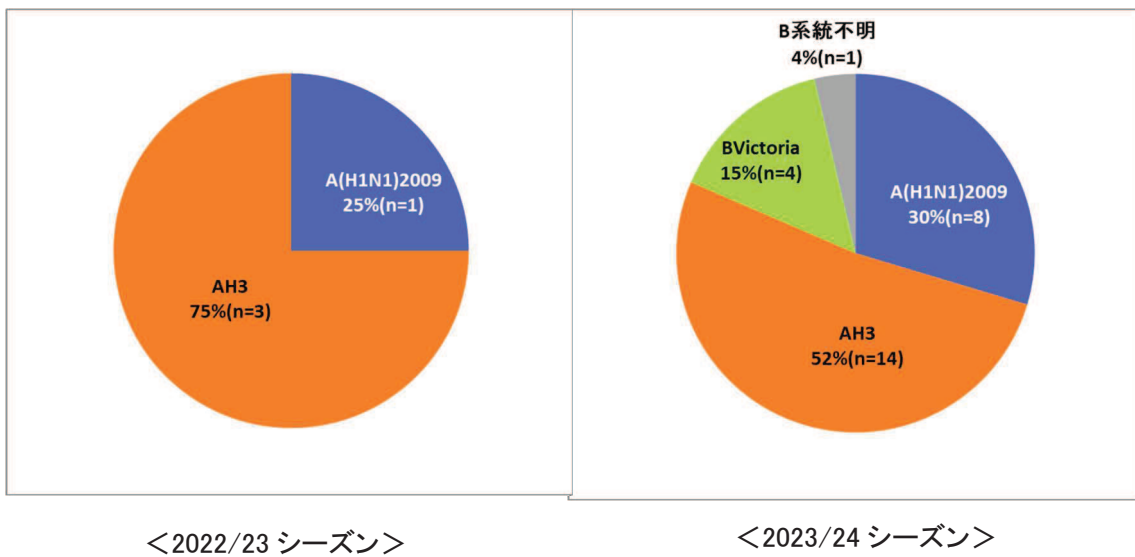
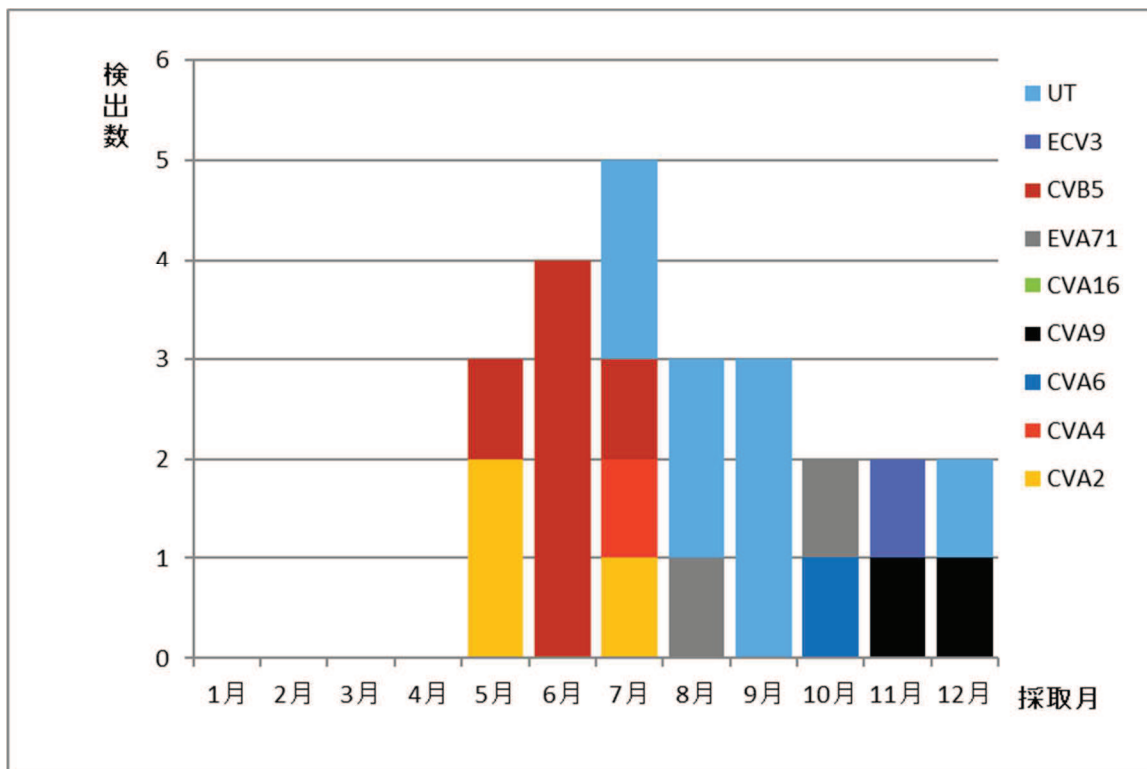


図 14 2022/23、2023/24 シーズンにおけるインフルエンザウイルス型別検出割合



※CV：コクサッキーウイルス UT：型別不能

図15 令和5年 月別 エンテロウイルス検出状況

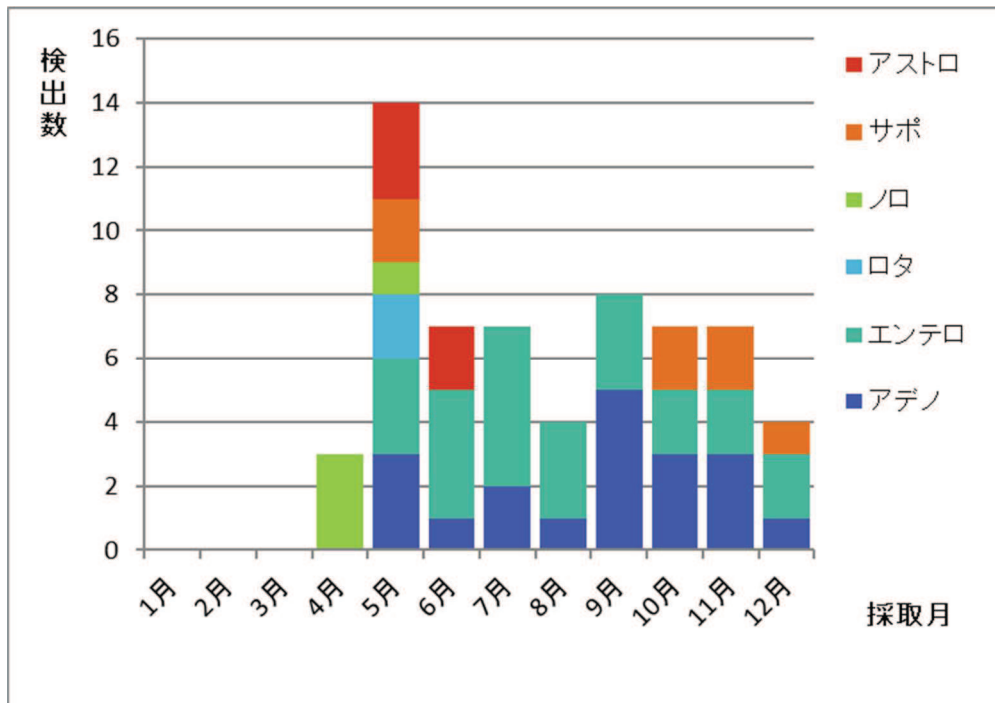


図16 令和5年 月別 便検体由来ウイルス検出状況